

科目名 「 歯科補綴学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	河相 安彦

単位数	2
学習目標 (GIO)	歯の欠如や歯列の欠損の補綴物、補綴物の管理や清掃法、補綴的介入の功罪、身体機能との関係を理解するために、歯科衛生士として求められる補綴学の知識を学び、補綴治療が口腔と全身の機能、さらに心の健康との関連を習得する。
担当教員	クラウンブリッジ補綴学： 小林 平、 田中 孝明 有床義歯補綴学講座： 中田 浩史
教科書	新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科補綴学 (クインテッセンス出版株式会社)
参考図書	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴 (医歯薬出版)、補綴診療補助 (書林)、クラウンブリッジ実習マニュアル臨床編 (医歯薬出版)、小歯科カラーアトラスクラウンブリッジ補綴学 (学建書院)、パーシャルデンチャーテクニク第5版 (医歯薬出版)、歯学生のパーシャルデンチャー (医歯薬出版)、図説無歯顎補綴学 (学建書院)
評価方法 (EV)	平常試験－1回目：20%、平常試験－2回目：20%、定期試験：60%の合計で評価を行う。また毎回の授業における予習・復習・および過去の国家試験問題を歯科補綴学まとめノートに作成し、将来の国家試験に対応できるノート作りを努めること。まとめノートは平常(1・2回目)試験日に提出による評価、さらには出席状況や履修態度を含めた総合的評価によって決定する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	補綴物の材料や製作方法や術式だけではなく、患者に対する口腔衛生、機能管理の重要性、補綴的介入がもたらす医学的利益と為害性にも目を向け、歯科補綴学の理解を深めて欲しい。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/10 (火)	補綴治療における診療補助 摂食嚥下について 診療時の共同動作 補綴治療に使用する印象材、ワックス、セメントおよび石膏などの材料について	<p>【授業の一般目標】 授業の進め方や評価方法についてガイダンスを行う。また、歯科補綴治療に使用機材と材料 (印象材、セメント、石膏等) の使用法およびその特性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 授業の進め方と評価方法を理解する。 歯科診療の補助と歯科診療の介助の違いを述べる事が出来る。 フォーハンドシステムの基本動作を説明できる。 診療に応じた器具の受け渡しについて説明することができる。 診療に応じたバキューム操作について説明することができる。 診療補助時に各器材と材料の使用法および特性について説明することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 教科書より歯科補綴治療における診療補助および材料について学習しておく。・1時間</p>	中田浩史

<p>第2回 4/17 (火)</p>	<p>歯科補綴治療の意義と目的 補綴治療における診療補助 歯科補綴治療の基礎知識</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学で補綴治療の意義と目的を理解する。適切な補綴治療の診療補助を行うための基礎知識を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 歯科補綴治療の意義と目的を理解することができる。 歯科補綴治療における歯科衛生士の業務を理解することができる。 歯列、咬合位、不正咬合を起こす要因および予防可能な要因について理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より歯科補綴治療の特徴と基礎知識を学習しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小林 平</p>
<p>第3回 4/24 (火)</p>	<p>歯科補綴治療の基礎知識 顎関節とその異常 CAD/CAMシステムの特徴</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学で補綴治療の基礎知識を理解する。生体における顎関節構造、下顎運動および咬合に関する基礎知識を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 咬合とその関連事項について理解することができる。 下顎運動の診査と記録方法について理解することができる。 顎関節の分類とその異常について理解することができる。 CAD/CAMの特徴と臨床手順について理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より顎関節構造、下顎運行および咬合の特徴の基礎知識を学習しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>小林 平</p>
<p>第4回 5/1 (火)</p>	<p>クラウン (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学におけるクラウン治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用機材と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 補綴装置の種類と適応を説明できる。 補綴治療に用いられる器材について説明できる。 クラウンの臨床ステップおよび技工操作を理解することができる。 前処置と印象採得の概要を理解することができる。 支台築造の種類と特徴・適応を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書よりクラウンの種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>田中 孝明</p>
<p>第5回 5/8 (火)</p>	<p>クラウン (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学におけるクラウン治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用機材と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 咬合採得の目的と方法および材料を理解することができる。 咬合採得する下顎位と咬合採得法を概説できる。 仮着・装着の材料と方法を理解することができる。 クラウンの修理、除去を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書よりクラウンの種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>田中 孝明</p>

<p>第6回 5/15 (火)</p>	<p>ブリッジ</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学におけるブリッジ治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用機材と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 ブリッジの構成と特徴を理解することができる。 支台装置とポンティックの選択、特徴および製作法を説明できる。 ブリッジの臨床ステップの概要を理解することができる。 ブリッジの修理、除去を理解することができる。 クラウンとブリッジで装着後の注意、口腔清掃指導を述べることができる。 【準備学習項目・時間】 教科書よりブリッジの種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>田中 孝明</p>
<p>第7回 5/22 (火)</p>	<p>平常試験および解説講義 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 第1回から第6回までの授業内容から出題 (国家試験過去問の改変) 歯科補綴学まとめノートの提出 【行動目標 (SB0s)】 正解した問題は理解を深め、間違えた問題に対しては更なる学習により理解を深める。 【準備学習項目・時間】 第1回から第6回までの授業内容について復習をしておく。・1.2時間 【学習方略 (LS)】 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 試験、解説</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第8回 5/29 (火)</p>	<p>全部床義歯 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における全部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 全部床義歯の適応と目的を理解することができる。 補綴治療に用いられる器材について説明できる。 全部床義歯の臨床ステップのおよび技工操作を理解することができる。 全部床義歯の構成要素 (義歯床、人工歯) を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より全部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第9回 6/5 (火)</p>	<p>全部床義歯 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における全部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 前処置と印象採得の概要を理解することができる。 咬合採得の目的と方法および材料を理解することができる。 咬合採得する下顎位と咬合採得法を概説できる。 排列および試適を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より全部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>

<p>第10回 6/12 (火)</p>	<p>全部床義歯 (3)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における全部床義歯治療で適切な診療補助が行えるようになるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 全部床義歯の装着と調整について理解することができる。 全部床義歯のリライン、リベースおよび修理を理解することができる。 装着後の注意、義歯の管理および口腔清掃指導を述べることができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より全部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第11回 6/19 (火)</p>	<p>局部床義歯 (1)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における局部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順及び使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 局部床義歯の適応と目的を理解することができる。 補綴治療に用いられる器材について説明できる。 局部床義歯の臨床ステップおよび技工操作を理解することができる。 局部床義歯の分類 (部位、Kennedy、欠損様式および負担様式) を理解することができる。 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 【準備学習項目・時間】 教科書より局部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第12回 6/26 (火)</p>	<p>局部床義歯 (2)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における局部床義歯治療で適切な診療補助が行えるために、目的、手順及び使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 前処置と印象採得の概要を理解することができる。 咬合採得の目的と方法および材料を理解することができる。 咬合採得する下顎位と咬合採得法を概説できる。 局部床義歯の構成要素 (義歯床、人工歯、連結子、支持装置 (レスト)、維持装置) を理解することができる。 排列および試適を理解することができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より局部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第13回 7/3 (火)</p>	<p>局部床義歯 (3)</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科補綴学における局部床義歯治療で適切な診療補助が行えるようになるために、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 局部床義歯の装着と調整について理解することができる。 局部床義歯の修理を理解することができる。 装着後の注意、義歯の管理および口腔清掃指導を述べることができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より局部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>

<p>第14回 7/10 (火)</p>	<p>特別な名称をもつ 義歯 義歯の修理、ろう 着および調整 在宅訪問診療と口 腔衛生指導 (補綴 関連)</p>	<p>補綴治療で適切な診療補助が行えるために、種類、目的、手順および使用器具と材料について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 本義歯、顎義歯、即時義歯および治療義歯等の特別な名称を持つ義歯について目的と特徴について理解することができる。 アタッチメントおよびインプラントを応用した義歯について理解することができる。 在宅訪問診療、口腔衛生指導および補綴処置後の患者指導を述べるができる。 【準備学習項目・時間】 教科書より全部床義歯の種類、目的、手順および使用機材について理解しておく。・1時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>中田 浩史</p>
<p>第15回 7/17 (火)</p>	<p>平常試験および解 説講義 (2)</p>	<p>第8回から第14回までの授業内容から出題 (国家試験過去問の 改変) 歯科補綴学まとめノートの提出 平常試験の解説 【行動目標 (SBOs)】 正解した問題は理解を深め、間違えた問題に対しては更なる 学習により理解を深める。 【準備学習項目・時間】 第8回から第14回までの授業内容について復習をしておく。・ 1 2時間 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 試験、解説</p>	<p>中田 浩史</p>